

1 単元名 日浦産のおいしさのひみつ

2 単元の目標

自分が学んでいる地域の自然環境や産業のよさを伝える方法を考える活動を通して、地域の活性化に携わる人々の思いや願いに気づくとともに、地域のために自分たちができることを考え、行動できるようにする。

3 単元について

(1) 教材観

日浦地区は、松山市の北東部、石手川ダムのさらに上流にあり、緑豊かな山林に囲まれている。松山市の水源地域に指定されており、昔から農林業がさかんに行われてきた地域である。水源の森を守るため、石手川ダム水源地域ビジョン推進協議会と地域が一丸となって山林を手入れし、川の水を清涼に保つ努力を続けている。子どもたちも「緑の森少年隊」として、河川や道路清掃にも取り組み、豊かな自然を後世に残すために努力を続けている。

しかし、少子高齢化が進み、休耕田も増え、日浦の自然豊かな田園風景も変わりつつある。そこで、日浦地区の農産物のおいしさのひみつを探る中で、日浦地区の豊かな自然の素晴らしさを再確認し、自然からもたらされる恩恵に感謝し、これからもこの地区の豊かな環境を大切に守り続けていく大切さについて感じるができることと考える。

(2) 児童観

本学級の児童（男3名、女2名、計5名）は、とても仲が良く、気心も知れており、自分の意見を堂々と発言している。お互いを尊重しながら、協力して物事を共に楽しむことができる。

豊かな自然環境で、ゆったりと学びたいという思いを保護者も子どもたちも持っており、入学当初から、地域に出かけ様々な自然体験を積んできている。5年生の1学期には、地域に出かけ、玉ねぎやほうれん草の収穫を体験した。収穫した食材は、家庭に持ち帰って家族と共に料理をしておいしく食べる経験をし、日浦地区の恵みを実感している。しかし、日浦地区が抱える課題について目を向けている児童は少ない。

(3) 指導観

単元の導入では、日浦地区の里山の風景や入学当初からの地域の方とのつながりや野菜作り米作り体験を振り返り、この地域からたくさんの恩恵を受けていることを再確認する。自然豊かな地域が抱える課題にも目を向けることで、自分たちにできることは何かを追求する学習を行う意欲をもたせたい。社会科の学習と関連を図り、日浦の農作物のおいしさの要因は何か、地域の地形や気候などの調べ学習を行う。また、世界の食糧事情についても、統計グラフなどから「米食」離れ、食品の安全性や食品ロス問題などにも目を向けさせる。そして、「食」をめぐる様々な人々が課題を解決しようと活動をしていることも知って欲しい。

つぎに、「食」をめぐる問題を知った子どもたちは、実際に日浦地区で農産業に携わってきた地域の人からお話を聞く活動への必要性を感じると思われる。そこで、学校に野菜作りの名人さんをお招きし、米作りやほうれん草、七草などの生産や販売のやりがいや苦労などについてインタビューを行う。そして、アドバイスを受けながら、自分たちでも実際に畑を耕し、ほうれん草や七草を育てる活動を取り入れる。その活動は、家庭科『ごはんとお味噌汁』の単元とも関連を図り、食卓を彩る食材を自分たちで生産することができる喜びもたせたい。

単元の後半では、自分たちが調べた日浦地区のよさをPRするために、何ができるかを考える活動を取り入れる。農作物だけでなく、伝統芸能、ししうどん、竹林の活用、ほたる保護活動など、自分のテーマを決め、PR方法のアイデアを出し合い、地域へと発信する活動を行う。自分の活動が、地域への貢献につながることを体感させたい。

(4) ESDとの関連

ア この題材で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・相互性・・・私たちは、自然から大きな恩恵を受けている。自然の恵みに感謝しながら山林に手を入れ、水源の森を守り、きれいな川を保ち続ける努力が必要である。
- ・連携性・・・日浦産のおいしい農作物の生産を続けていくためには、後継者問題にも目をむけていかなければならない。
- ・責任制・・・地産地消を心掛け、旬の野菜で食卓を彩る食生活を心掛けたり、賞味期限や消費期限の違いを理解して自分の消費行動を見直したりする必要がある。

イ この学習を通して育てたい ESD の資質・能力

【批判的に考える力 (クリティカル・シンキング)】

- ・自分の日々の行動を見つめなおし、自然の恩恵を受けるだけになっていないかを考えることができる。
- ・自分の食生活や消費行動が、自然を守ることになっているのか批判的に考えることができる。

【多面的・総合的に考える力 (システムズ・シンキング)】

- ・おいしい野菜やお米を作っている生産者の方が、これからも継続して働き続けることができる社会の仕組みを作ることが、自然環境を守り、安定した食糧生産を確保に繋がる。

ウ この学習を通して育てたい ESD の価値観

【世代内の公正】

生産者人口の減少や高齢化も進んでいる。生産者のみに負担をかけるのではなく、社会全体で食料生産に目を向け、IoT で農業の IT 化も進めることも大切である。

消費者は、豊かな消費行動の本質を考え、世界の食料問題、飢餓問題にも気付き、行動を起こすことも大切である。

【自然環境や生態系保全を重視する】

里山の風景は、人が手を入れることで守られている。この里山を守るために活動している人たちの存在や思いを知り、自分にできる自然保護について考える。自分たちの行動が、果たして自然環境や生態系保存に影響を及ぼしていないかという視点で自分たちの生活を見つめ直すことも大切である。

【幸福感を大切にする】

「本当の幸福感とは、何か」自分も自分の周りも、そして自分の住んでいるまちや社会が幸せになることが、真の幸福につながるのではないか。

4 達成が期待される SDGs

【2 飢餓をゼロに】

【11 住み続けられるまちづくりを】

【12 つくる責任つかう責任】

【15 陸の豊かさを守ろう】



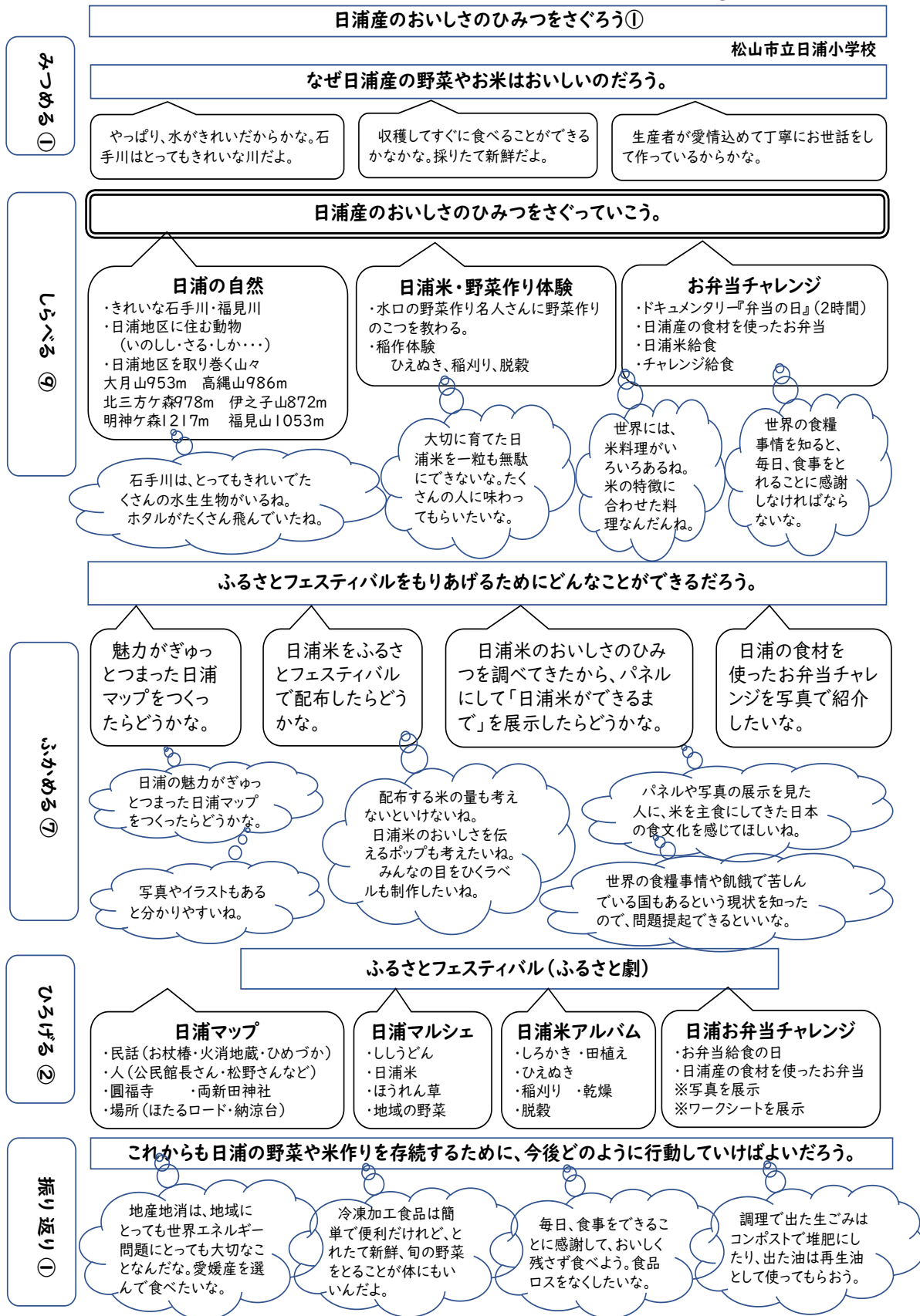
5 単元の評価規準

ア 知識・理解	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①日浦地区の農産物のおいしさと、生産者の思いや願いが分かる。 ②目的に応じた情報収集の仕方を考え、得た情報の比較・分類の方法を理解している。	①日浦地区のよさを人々の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法を選択・決定し、見通しをもって追及している。 ②みんなの意見や地域の人へのインタビュー、収集した情報を比較したり分類したりして整理することができる。	①日浦地区に関心をもち、そのよさや特徴をよりPRできる方法を、考えたり見つけたりしている。 ②日浦地区観光大使としてPRの仕方について、他者の考えを受け入れ尊重しながら、協働して考えている。 ③自分たちにできる方法を、進んで考え提案しようとしている。

6 単元の指導計画（全 17 時間）

学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
1 日浦地区の農作物の おいしさのひみつにつ いて考え、今後の活動 の見通しをつかもう。 (1)	○ なぜ日浦産の野菜やお米はおいしいの だろう。 ・ 水がきれいだからかな。 ・ 採りたて新鮮だからかな。	○ 今までの活動を 振り返り、今度の 活動に意欲を高め ることができた か。
2 日浦産農作物のおい しさのひみつを探ろ う。	○ 日浦の地形、気候、気温、降水量など 調べてみよう。(計2) ○ 日浦米・野菜作りを体験しよう(計3) ・ ほうれん草の種まき(1) ・ 日浦米稲刈り(1) 9月21日(水) ・ 日浦米脱穀(1) 10月4日(火)	○ 社会科の学習と の関連を図り、適 切な資料を収集 し、分類・整理す ることができる。 ・SDGs コンダクター の協力を得て活動
3 日浦米や野菜を使っ た料理を味わおう。	○ 「お弁当づくり」にチャレンジしよう (計4) ・ 映画「お弁当の日」上映(2) 10月17日(月) ・ お弁当のメニューを考えよう(1) ・ お弁当交流をしよう(連合音楽会) ・ 振り返り感想を交流しよう。(1)	・チャレンジ給食 (日浦米給食) ・日浦お弁当の日 11月15日(火)
4 日浦米のおいしさを みんなに伝えよう。	○ ふるさとフェスティバルで配布しよ う。 ・日浦米のラベルをつくろうよ(1) ・日浦米ができるまでを写真で紹介した いな(1) ・日浦米を使ったお弁当チャレンジを写 真で紹介したいいな(1) ・日浦米のおいしさのひみつがぎゅっ とつまった日浦MAPを作ろうよ。(1)	○ 米作りを振り返 り、 ○ 日浦地区に関心 をもち、そのよさ や特徴をよりPR できる方法を、考 えたり見つけたり している。
5 ふるさとフェスティ バルを盛り上げよう。 11月27日(日)	○ 日浦マップ(生き物・川・人) ○ 日浦マルシェ(弁当・野菜・日浦米) ○ 日浦ヒストリー (民話・伝統芸能「伊予万歳・日浦太 鼓」)	○ 自分たちにでき る方法を、進んで 考え提案しようと している。 ○ 他学年の学びの 取材を行い、日浦 地区の自然・農作 物・伝統芸能など について記事にま とめることができ る。
6 活動を振り返ろう。	○ これからもおいしい日浦の米や野菜作 りを存続するために、自分たちにでき ることはなんだろう。(1) ・地産地消は、地域にとっても世界のエ ネルギー問題にとっても大切な事なんだ な。愛媛産を選んで食べたいな。 ・毎日、食事を摂れる事に感謝して、お いしく残さず食べよう。食品ロスをなく したいな。 ・調理で出た生ごみはコンポストで堆肥 にしたり、出た油は再生油として使っ てもらったりしよう。	○ 学びを振り返 り、日浦地区への 愛着を深め、自分 たちにできること を考え実践しよう という意欲をもつ ことができる。

総合的な学習の時間「日浦産のおいしさのひみつをさぐろう②」(全17時間)



みつめる ①

しらべる ④

ふかめる ⑦

ひろげる ②

振り返り ①

総合的な学習の時間（日浦産のおいしさのひみつ②）

～世界の食糧事情・米食について考えよう～

5年（ ）

1 初めて知ったこと、驚いたこと

2 これからこの問題に自分としてどう行動していくか。



4 野菜・米作り名人にインタビューしよう。

【質問1】
【質問2】
【質問3】
【質問4】
【質問5】
【質問6】